

# ぎかいのとびら

ひおき市議会だより



楽しく元気に健康づくり!! コミュニティスポーツクラブ Chest 伊集院

## 9月定例会 主な内容

平成28年11月 第46号

- 平成28年度補正予算……………P 2
- 人事案件……………P 3
- 条例の審査状況……………P 3
- 一般質問……………P 4

- 所管事務調査結果報告……………P 12
- 行政視察……………P 13
- 編集後記……………P 16



人権擁護委員に  
3人の方が  
再任されました。



吹上地域  
佐多 秋男氏



吹上地域  
林 美代子氏



伊集院地域  
本村 一男氏

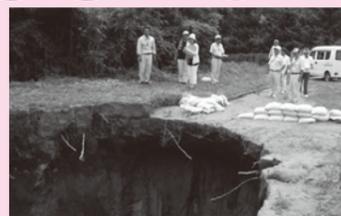
## 9月補正予算

# 日置市の災害対策費8560万円

～1億5088万7千円を追加し総額267億8700万8千円～

### 農道・水路・ため池等の災害復旧費

## 5310万円



5月～7月の豪雨災害による復旧費として

### オリーブオイルの成分分析に

## 200万円



オリーブの成分を分析し健康に良い効能を明らかにする(エーザイ株式会社へ委託)

### B型肝炎の予防接種費

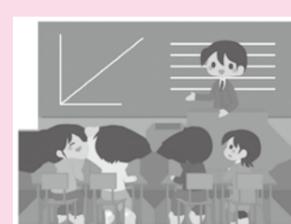
## 530万円



法改正により定期予防接種となった10月開始となります

### 原子力防災リーフレット

## 51万円



市内小中学校の児童生徒に配布します

### 市民の願い 請願のゆくえ

#### 請願

介護保険制度における軽度者への給付を継続する旨の意見書の提出を求める請願書  
 請願者 福祉用具国民会議 鹿児島地区委員 西園 靖彦  
 紹介議員 出水賢太郎  
 全会一致で採択

介護保険制度における軽度者への給付を継続する旨の意見書  
 提出先  
 内閣総理大臣  
 財務大臣  
 厚生労働大臣

### 日置市診療所の無償譲渡 賛成20反対1で可決

日置市診療所の民営化は本年5月に移管先を決定し、6月議会で日置市診療所条例の廃止について可決された。



日置市診療所は、平成22年建築の鉄筋コンクリート造り平屋建てで、評価額が約1億3000万円である。  
 譲与の相手方は、「医療法人誠心会 理事長 前原くるみ氏」で、譲与の時期は、平成29年4月1日である。  
**譲与条件**  
 1、医療施設として使用する事。  
 2、備品は無償譲渡。  
 3、土地は普通財産として有償で貸し付ける。

### 日置市診療所の 経営状況

H17年度	355万円
H18年度	3051万円
H19年度	4571万円
H20年度	4761万円
H21年度	5933万円
H22年度	6100万円
H23年度	3000万円
H24年度	6700万円
H25年度	3000万円
H26年度	1000万円
H27年度	3000万円

#### 反対討論

日置市診療所が指定管理者制度になる際にも一貫して反対をしました。  
 公の施設として、市が責任を持って管理運営すべきと考える。  
 旧日吉町当時の星原町長が、将来の高齢化を考慮入院できる病院が必要として作られた。  
 合併した今では、約5万人の市民共有の貴重な財産である。  
 民間への無償譲渡は公的責任の放棄と考える。

市は、市民への説明責任を果たしているとは言えず、市民の理解を得るための努力も足りないため反対する。

市が直営の時は赤字が4、5千万円はあったが、指定管理になってからは入院・外来患者も増加し、赤字も2、3千万円程度となり、改善されている。今後、指定管理を続ける、市が負担を強いられる。

また、診療所の建物の評価額が約1億3千万円で、譲与を受ける医療法人は、不動産取得税が約500万円、固定資産税が年に約180万円、土地の貸付料が年に約37万円、さらに、法人税も発生する事になる。  
 市直営で多額の赤字を出して運営する事は厳しく、かといって診療所をなくすわけにはいかず、存続のために必要と考える賛成する。

賛否表(○:賛成 x:反対 議長は表決に参加しない)

議案名	中村	島中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島	中島	田畑	池満	長野	松尾	宇田	成田	結果		
日置市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律附則第14条の規定に基づく経過措置を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
市有財産の譲与について(日置市診療所)	○	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

### 一般会計・特別会計

(予算額は1万円未満切り捨て)

会計名	補正予算額	賛否表(成田議員は議長のため、表決には参加しない)																	結果						
		中村	島中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島	中島	田畑		池満	長野	松尾	宇田	成田	
一般会計	1億5088万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
国民健康保険	5796万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
公共下水道事業	900万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
農業集落排水事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
特別会計																									
国民宿舎事業	7万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
健康交流館事業	970万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
温泉給湯事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
介護保険	2億3130万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
後期高齢者医療	38万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
水道事業会計(収益的支出)	△1437万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決



田畑 純二 議員

**質問 1** 本市の農業政策は

**【答弁】** 農業者の経営体質の強化を

**田畑** ①農政新時代を、本市の農業にどのように結びつけていくか。

②6次産業化の進め方と成果、今後の強化策は。

③地域社会を守る農業をどう考え、どう実行しているか。

④若手農業者の確保と定着へ向けての政策実行と、今後の強化策は。

⑤都市部と農村をつなぐ地域産業をどう考え、創出していくつもりか。

**市長** ①市内農業者の経営体質強化を積極的に取り組む。

②一定の効果が上がっており、今後も関係者と連携を進め推進する。

③共生協働の取り組みが重要で、中山間地域等直接支払制度も活用しながら、取り組んでいく。

④市単独の農林漁業後継者就業支援事業の実施と国庫補助の青年就農給付金事業を活用。今後も各関係団体と連携していく。

⑤日置市直売所ネットワークやさつま半島グリーン・ツーリズム協議会との連携を深めて、地域産業の発展を図っていく。

**質問 2** 本市での魅力ある観光地域づくりには

**【答弁】** 観光施設を活用した観光ルートを構築

**田畑**

①地域振興と観光政策施設をどう結び付け実行し、効果は。

②まちづくりと観光振興策をどう実行し効果は。

今後どう強化するか。

③観光施設を稼げる地域資源にするために何を実践し、今後の強化は。

④ヘルスツーリズムとグリーン・ブルーツーリズムの考え方と展開法は。

⑤外国人向け観光の取り組み方と進捗は。

**市長**

①様々な観光資源を活用したバスツアーを実施し一定の効果がでている。

②新たな人の流れを作ることを目標とし、観光面も情報発信を行い、今後も強化。

③観光施設の魅力を高めることが重要で、特産品開発と販路拡大が必要。

④地域産業である農村漁村の取り組みをPRし、交流人口拡大を推進。

⑤公衆無線LAN環境の整備を図り、多言語化にも努め対応を研究推進。



小松家墓地（園林寺跡）



花木 千鶴 議員

**質問 1** 妙円寺団地内バス路線変更はどうか

**【答弁】** 今年度、公共交通網を再構築する

**花木**

高齢化が進み、現在のバス路線では利用しにくいとの声がある。

特に、高齢者住宅のある9区は団地の低い位置にあり、バス停まで長い坂を登って行かなければならない。自治会等からの申し入れもなされたが、今後の対応は。

**市長**

マスタープランとなる地域公共交通網形成計画の策定中であり、現在、実態調査や利用状況・ニーズ把握を進めている。

一部地域から、路線見直しの個別要望があるが、市の調査結果や要望等に基づき、利用見込や費用面など、総合的な分析・判断で、新たな体系の運行実施計画につなげたい。

**質問 2** 障がい者差別解消の取り組みは十分か

**【答弁】** 協議会を中心に取り組む

**花木**

障がい認定者の圧倒的多数が病気や事故で障がいを負っていることから、障がい者施策

**質問 1** 小中学校での特別支援学級の状況は

**【答弁】** 特別支援学級の在籍数増加が予想される

**坂口**

4月から障がい者差別解消法が施行された。小・中学校での合理的配慮の考え方を伺う。

障がいのある子どもが増加する中で施設整備も重要である。

支援学級は、トイレ、シャワー・畳のスペースが必要であるという声や、保護者・教職員から寄せられた。本市の設置状況はど



坂口 洋之 議員

トイレ・シャワーの設置は伊集院小・中学校のみ、シャワーは保健室のある学校で対応する状況。新築予定の伊作小は施設が整備される予定。

4月から各支所は、常勤の保健師も配置されず、非常勤の看護師が配置され、本庁から必要に応じて派遣されている状況だ。市民の特定検診や妊

**教育長**

支援を必要とする児童生徒は、小中学校合せて102人で前年比11人増。

校内の支援体制の整備、支援員の配置をしている。

学校での合理的配慮は、趣旨に基づき、障がいのある児童生徒の状態や教育的ニーズに応じて、学習上・生活上に必要な配慮を提供している。

本庁・各支所の職員体制と業務の役割の考えは、本庁集約が進む中で、各支所の保健師・土木技師等の削減で行政サービスの低下を心配する声もある。

**質問 2** 各支所に常勤保健師を配置すべきでは

**【答弁】** 本庁の常勤保健師の派遣で対応する

**坂口**

支援員の増員・勤務日数については、学校と相談し、必要に応じて配置を見直したい。

高度化多様化する中で、体制や業務の役割について、支所サービスを考慮しながら継続的な見直しを行う。今後、保健師については、行政サービスの低下を招かぬよう各支所に在宅保健師を配置するなど、住民の相談窓口確保に努める。



支所機能の低下が危惧されるが

自立支援協議会に、障害者差別解消支援地域協議会を設立したので、情報共有し、議論していく。

事業所等への情報発信や「障がい者福祉大会」等を開催し、事業者・市民への周知に努める。合理的配慮については、可能な限り合意形成して、生活・学習面での配慮が大切と考え



日置市障がい者福祉大会



# 一般質問



# これからどうする！ 日置市

9月の定例会では11人の議員が登壇し、日置市の未来を見据え質問を行いました。

より良い市政を目指して



山口 初美 議員

**山口** 鹿児島県の3つの医療費（乳幼児医療、ひとり親家庭医療、重度心身障害者医療）の助成制度はいずれも窓口一時払いである。新県知事公約の「子ども医療費は窓口一時払いを完全ゼロに」の政策を進めていただくよう、本市からも要請しないか。

**質問 1** 3つの医療費の助成制度を窓口無料に

**【答弁】** 他市町村の動向を見ながら要請する

**質問 1** 介護保険制度改正による影響は

**【答弁】** 円滑な事業移行へ向け体制を整備

出水 賢太郎 議員



**出水** 地域包括ケアシステムの構築へ向け、地域の実情や自主性に応じて、生活支援や介護予防の充実を図ることを目的に、国は新しい介護予防・日常生活支援総合事業への制度改正を行った。日置市でも10月から始まるが、これまで行ってきた「いきいきサロン」や「筋ちゃん広場」など、介護予防の取り組みへの

影響はないか。また、訪問介護や通所介護は市町村による地域支援事業に移行するものの、27年度介護報酬改定で、多くの事業所が減収となっており、廃業や担い手不足などが懸念されるが、対応はどうか。

**市長** 「いきいきサロン」は総合事業で行えば、介護保険のケアプラン作成などが必要となり、利用しにくくなるので、これまで通り、一般介護予防事業として実施する。

「筋ちゃん広場」は、認知症予防など効果があり、総合事業の中で会場の拡大を図っていく。

訪問介護や通所介護は、今回の地域支援事業への移行により、事業所の減収も予測されるので、新たなサービスの提案や支援体制の整備を図る。

**質問 2** 地域連携の認知症予防を図るべきでは

**【答弁】** 地区公民館と連携して取り組む

**出水** 認知症対策として、地域連携での支援体制の整備や、地域での予防教室の実施などが挙げられるが、日置市でも地区公民館を拠点に認知症対策を図るべきではないか。

**市長** 現在、認知症サポート養成講座や認知症カフェ等を展開しており、地区公民館や医療機関との連携、住民互助による見守りなど、普及啓発や予防活動に取り組む。また、エーザイ株式会社と協定を結び、認知症に効果があるオリブオイルの成分分析を進めるほか、認知症講座や人材派遣を検討している。



福岡県小郡市の認知症予防教室「脳若トレーニング」

## 市長

現物給付方式を取り入れるためには助成制度の見直しや、県内医療機関等の協力が必要となる。他市町村の動向を見ながら要請していく。

**質問 2** 受動喫煙防止の具体策をどう考えるか

**【答弁】** 県とも連携し啓発を図っていく

**山口** たばこを吸わない人が有害物質を含むたばこの煙を吸わされることを受動喫煙と言います。副流煙はより毒性が強く周囲の人に健康被害をもたらす。副流煙には有害物質200種類以上、発がん性物質は60種類が高濃度に含まれている。本市は健康づくり条例

## 市長

受動喫煙による急性の影響は目やのどの痛み、心拍数の増加や血管の収縮などが見られる。慢性の影響は肺がんなどほとんどのがんや脳卒中・心臓病など動脈硬化と関連した循環器の病気、また流産や早産、低体重児出産など多くの病気に影響が見られる。

を制定した町であり、医療費削減のためにも受動喫煙を防止することは大切なことと考える。受動喫煙による急性と慢性の影響にはどのようなものがあるか。禁煙外来を活用して、「やめる支援」を実施できないか。公共施設は禁煙であるべきなのに、守られていない実態があるので、禁煙ステッカーの掲示・学習会等に取り組まないか。

禁煙外来は市内8つの病院で行っており、案内している。ステッカーは検討する。学習会やシンポジウムは今のところ考えていない。（その他の質問）  
・小中学校の普通教室にクーラーを  
・脱原発



分煙で受動喫煙は防止できるでしょうか。



上園 哲生 議員

**質問 1** 避難所・避難ルートは大丈夫か

**【答弁】** 指定避難所変更の見直しも

難ルートの安全性について、どのような認識をもって対応しているのか。  
また、避難の実効性を上げるためには、情報提供のあり方、自主防災組織を活用したコミュニティの強化が大事だが、取り組みについて何う。

**市長**

近年、地震・噴火・台風等のさまざまな自然災害に襲われ続けている。  
自然は人間より強い力を持っていると、改めて思い知らされる。そうした中で、被害を最小限に食い止めるよう努力している。

そこで、現在避難所に指定されている場所や施設、そこまでの避難

現在指定避難所は、46カ所あり、うち5カ所は耐震性が確認されておらず、また河川のそばにある所もある。

指定避難所の変更検討や、耐震診断を実施していきたい。  
また、各種災害に対応した発令基準を設けており、災害の深刻度によって、避難準備情報、避難勧告、避難指示を、その意味する内容も含めて、広報紙等を通じて周知を図っていく。

また、自力で避難することが、困難な方々の「避難行動要支援者名簿」作成が義務付けされたが、どのような状況か何う。

**質問 2** 業務継続計画・避難要支援者名簿作成は

**【答弁】** 改正災害対策法に適宜対応

国も災害時の対応を細かく指示してきている。

まず、災害時でも必要な業務を続けられるよう、職員の参集体制、本庁舎が使えない場合の代替庁舎の特定、多様な通信手段の確保等、6項目の業務継続計画の作成、具体的な取り組み状況はどのようなものであるか何う。

また、自力で避難することが、困難な方々の「避難行動要支援者名簿」作成が義務付けされたが、どのような状況か何う。

6項目からなる業務継続計画は策定したが、具体的な対応を順次進めて行く。  
平成26年3月に、「避難行動要支援者名簿」を作成し、システムの整備を行いつつ、名簿の充実を図っている。  
同意が得られた対象者は、消防、民生委員等に情報提供していく。

**市長**



避難所に指定されている永吉地区公民館体育館

**質問 1** 公共施設の耐震化等の整備状況は

**【答弁】** 緊急性のある個所を優先して対応する

⑤伊集院文化センターは実施計画に沿い、昨年度つり天井等の調査を実施したが、改修工事は予定通りに行けるか。  
⑥既存のエレベーターの使用上の注意は、わかり易くすべきではないか。

どちらも、危険性の度合い・老朽化・利用頻度などを参考に、所要の措置を講じていく。  
④3カ所の、避難所が吊り天井であり、災害の種類等も考慮して、あり方を検討していく。  
⑤伊集院文化センターのホールは最も古く、利用者も多いので天井・屋根・壁・客席などを調査・点検した。

全体の改修には、多額の予算が必要のため、緊急性のある個所を優先に対応を検討していく。  
⑥既存のままで「災害時の使用について」エレベーター利用者にわかり易い表示を考へたい。

**市長・教育長**

①市施設でつり天井とエレベーターは、いくつどこにあるか。  
②既に耐震対策を講じた施設があるか。  
③未整備の施設について、今後どのように対応するのか。

④指定避難所につり天井はないか。

池満 渉 議員



本庁舎のエレベーターは、平成25年度に改修済みである。  
③未対応のつり天井は、必要に応じて専門業者の調査・診断を先に実施したい。  
エレベーターは、毎年実施している保守点検業務に加え、必要な措置や業者提案を考慮して対応を検討していく。



東市来文化交流センター屋根裏



黒田 澄子 議員

**質問 1** 日帰り型産後ケア事業に取り組まないか

**【答弁】** 妊産婦の意見を伺い検討する

朝晩は家で過ごし、日中だけケアを受けられる日帰り型もニーズがあると考え提案するかどうか。

**市長**

出産後4か月まで利用可能で、昨年度利用は4人で延べ35日の利用があった。  
市民から、利用料金を下げてほしいとの要望書が出たため、今年度から利用しやすく下げている。  
母子手帳配布の時に産後ケアのチラシを渡しているが、広く市民に向けた広報啓発に努めたい。  
妊産婦の意見も伺い、日帰り型も検討していく。

**黒田**

平成27年度から宿泊型の産後ケア事業が始まったが、現状はどうか。  
また、利用料は一般世帯で1日9700円だったが今年度から5830円と下がっているがどうしてか。

この事業は祖父母世代も含めて、広く市民に啓発すべきだがどうか。

**質問 2** 新生児聴覚検査の把握と公費負担は

**【答弁】** 公費負担は県全体をみて検討する

000円～8000円で、中には検査料が高いため受診させない親もいると聞く。  
本市の現状はどうか、また、この内容にどう対応していくのか。

**市長**

新生児聴覚検査は、新生児訪問と3～5カ月検診で全員確認する。母親が希望されない場合や助産院で検査機器がなく未実施が若干いる。  
公費負担は県内の状況をみて検討する。  
(その他の質問) 日置市の防災減災を問う

**黒田**

新生児聴覚検査は、出産後に産院等で退院までに新生児が眠っている状態で検査される。平成28年3月29日付で厚生労働省から聴覚障害は、早期に見えさせられ適切な支援が行われた場合、音声言語発達等への影響が最小限に抑えられるとの事で、体制をつくるよう求めている。

また、すべての新生児への聴覚検査の受診と把握、検査料金への公費負担で受診者の経済的負担の軽減に努めるようにとの内容もある。県内での検査料は6



睡眠時に行う聴覚検査



漆島 政人 議員

**質問 1** 老朽化した公共施設の耐震対策は

**【答弁】** 財政支出の平準化を基本に進めていく

**漆島** 現在、日本各地で頻繁に地震が発生している。熊本地震を教訓にすれば、人命にかかわる古い公共施設については早急な耐震対策が必要である。

だ95棟の未耐震校舎があることから、補助金の確保に向けて国と協議中との説明がなされた。計画通り補助金を確保し、改築できるのか。現在、産業建設部は、本庁舎内にはなく、県振興局日置庁舎の古い建物で業務を行っている。庁舎増設は、防災対策においても緊急性は高い。今まで運動施設改修など贅沢と思える事業に財源が投じられてきた。財政支出が一時的に膨れても、少しでも早く増設すべきと考えるが。

伊集院北小学校は、昭和34年建設で老朽化が著しい。先の議会では、平成29年度での改築計画が示されたが、県内にま

伊集院北小学校については、国も未耐震校舎の改築を重要視しており、国からの負担金・交付金も採択され、改

**質問 2** 安全性が問われる避難所の見直しは

**【答弁】** 地域の実情に応じ避難所の見直しを行う



産業建設部がある県地域振興局日置庁舎

**漆島** 永吉地区など、河川の氾濫や避難経路に危険性の高い避難所がある。早急な見直しが必要では。

**市長** 土砂災害警戒区域を通行しないと避難所にいけない地域もある。地域の実情に応じて随時見直しを行っていく。

**質問 1** 町界・町名・地番の整理はどうなっているか

**【答弁】** 整理を行える状況が出てきたら検討する

**畠中** 昭和37年5月に住所をわかりやすくするための住居表示に関する法律が施行され、全国的に建物による住居表示が、実施されるようになった。

日置市の4地域の住居表示の状況と区画整理事業の現在の状況は。近い将来に住居表示を実施してわかりやすい表示にするつもりは

ないか。

**市長** 本市では、住宅が建っている土地の地番を用いて、町名、字名、番地による住居表示をしている。

土地区画整理事業は、徳重地区と湯之元第一地区が事業実施をしており、平成27年度末の湯之元第一地区の進捗率は38・39%となっている。

住居表示や町界・町名の整理を行うことにより、住所がわかりやすくなり、郵便物等の誤配等がなくなるなどメリットもあるが、免許証の訂正や金融機関への変更など、各種の手続きをしないといけないデメリットもある。その地域に住居されている方々の合意形成も必要であるので、そのような状況が出てきたら、検討をする必要がある。

**質問 2** 難病医療費助成制度はどうなっているのか

**【答弁】** 受給者数は474人、対象疾病が306疾病

**畠中** 平成27年1月1日より新しい難病医療費助成制度が施行され、初めて法制化された。

難病医療費の助成を大幅に拡大し、総合的に支援し、医療提供体制や相談・就労支援なども充実させるとしている。

難病患者の対象範囲と対象数、制度の変更による市民への影響は。また、本市の体制の現状は。

は、所得によって決ま

**市長** 法律で指定されている難病は、制度改正により、対象疾病が56から306疾病に拡大された。受給者は平成28年5月末現在、474人である。医療費の自己負担額は、所得によって決まっているが、新たな申請者以外は3年間の経過措置がある。

難病医療費助成制度は県の保健所が窓口となっている。

**質問 1** 東市来総合運動公園に多目的屋内運動場を

**【答弁】** 多目的に使えるものを検討し、計画の方針を決めたい

**松尾** ①2020年開催の鹿児島国体会場として、軟式野球とレスリング競技で本市の3会場が決定された。今後の施設整備と大会終了後のスポーツ競技等の誘致をどう考えるか。

②東市来総合運動公園に、多目的屋内運動場(ドーム型)の整備は考えられないか。

また、東市来総合運動公園には遊具施設がないが、設置の考えはないか。

松尾 公裕 議員

**市長** ①今後の施設整備については、来年度から湯之元球場の改修、吹上浜公園体育館の空調整備を予定している。国体終了後も、県内外からの合宿、九州大会クラスの各種大会の誘致活動に努めていきたい。

②今後の計画については、多方面からの意見を聴き、多目的に使えるものを十分検討し、方針を決めたい。遊具については、体育館等の整備を優先し、その後に検討を始める。

**質問 2** 市道・県道の改良状況は

**【答弁】** 短い区間だけでも協議を考えたい

**松尾** ①湯田地区公民館前の市道元湯堀内線水路部分の、暗渠化による拡幅改良の要望書が、地区公民館から提出されているが、検討され

②県道戸崎・湯之元停車場線の片側通行部分の拡幅改良について、地区公民館から要望書が提出してあるが、この路線についての取り組み方針は。

**市長** ①地区館、関係者と連携して進めるが、短い区間だけでも、協議を考えたい。②狭い区間の整備については、市民の安心安全の面から、引き続き県に要望していく。



畠中 弘紀 議員



区画整理の進む郡・徳重地区



東市来総合運動公園の整備を

# 庁舎の電力自由化の取り組み・地域おこし協力隊の活動を調査

総務企画

群馬県中之条町・新潟県十日町市 7月11・12日

③木質バイオマス  
森林整備に伴う間伐材や製材所の残材を活用するため、木質バイオマス事業化検討協議会を設立。  
平成27年の環境省「低炭素・循環・自然共生」地域創生実現プラン策定事業モデル地域に選定される。

②小水力発電  
平成27年度から、70mの高低差のある美野原用水を活用した小水力発電施設の工事に着手。  
その電力需要施設は、近隣の道の駅等に売電する。

①メガソーラー発電  
町内に3カ所（バイテック中之条太陽光発電所、沢渡温泉第1発電所・第2発電所）で、最大出力5メガワットとなる。

【調査の目的】  
庁舎の電力自由化に向けた取り組みについて

群馬県中之条町

【調査箇所】

④中之条電力の設立

中之条町に3カ所の発電所ができたことから、平成25年8月に、中之条町が6割出資とその他企業が構成される「一般財団法人中之条電力」を設立（自治体中心の新電力会社は全国初）し、平成26年9月から公共施設30カ所に電力の供給を始める。

【まとめ】

国の電力自由化の動向を踏まえ、中之条町で、東京電力に支払っている1億円の電気料金を中之条町で賄えないかとの視点で、地産地消型の中之条電力を設立し、公共施設の30カ所に供給している。

平成28年7月から一般家庭用の売電申請を始め

現在は太陽光・小水力発電だけであるが、今後、木質バイオマスや風力発電等の事業化を検討し、自治体主導のエネルギー自給自足の取り組みを進めている。

# 5・6月豪雨災害の被災状況を調査

産業建設 8月1日

伊集院地域の被災状況

古城地区では農地（水田）と農道がそれぞれ崩壊し、被災金額は合わせて400万円である。  
竹之山の市道板屋ケ原線の路肩が長さ25m、高さ17.3mにわたって決壊し、7月12日から通行止めになっている。  
被災規模が大きいため、測量設計業務委託、災害査定の後、6000～7000万円の工事を予定している。



市道高塚仕明線

東市来地域の被災状況

市道高塚仕明線は長さ18m、高さ5mにわたって路肩が決壊した。  
被災金額は900万円、ブロック積みで復旧予定である。

【調査の目的】

宮田塩入地区では、水路の法面が長さ21m、高さ2.5mにわたって崩壊

した。

横を農道が通っており通行に危険が生じている。被災金額は300万円である。

市道上の浜帆ノ港線の大川橋（橋長27.45m、昭和59年建設）が、護岸洗掘のため橋台が崩壊。河床の低下と大雨による異常洗掘により橋脚が沈下し、6月22日から全面通行止めになっている。現在、1285万2000円で測量設計調査業



大川橋

吹上地域の被災状況

市道坊野野添線の路肩が、長さ6m、高さ12mにわたって崩壊した。  
L型擁壁による復旧により、約200万円の工事を費見込んでいる。  
野首地区では農地（畑）と水路が長さ10m、高さ5mにわたって崩壊した。  
被災金額は500万円。  
ここは周辺一帯の排水が集中し迫状になっているため、大規模に地盤を掘削し、被害が拡大したものと考えられる。



野首地区農地



中之条町視察

②活動内容

平成21年度から28年度までの協力隊は延べ51人。  
高齢者支援として通院送迎支援・買い物代行・除雪等支援・地区行事・共同作業の運営支援を行う。  
農産物の直売・販路拡大として直売所の運営支援・販路を開拓する。

【まとめ】

退任隊員33人の内、24人が定着・定住し、定住率72.7%で、隊員家族を含めて47人の定住増加につながっている。  
このことは、受け入れ地域が地域おこし協力隊の活動を支援し、また、協力隊員は、地域のために活動していくという相乗効果があり、地域の活性化につながっているためと感じた。

新潟県十日町市

【調査の目的】

地域おこし協力隊の活動について

①導入の目的

11年間で人口約8千人減少・10年間で農家戸数1,319戸減少している現状の中、農地の保全、集落運営や生活支援等と課題の多様化で、公平公正な行政サービスの支援が行き届かないなどの解決のため。



十日町市視察

# 下水から発生する汚泥の有効利用 ハウレンソウの温泉熱利用栽培を調査

産業建設

北海道網走市・弟子屈町 7月14～16日



網走市視察（スラッジセンター）



網走市視察（コンポストヤード）



弟子屈町温泉熱利用栽培の視察

**【調査箇所】**  
北海道網走市

**【調査の目的】**  
下水から発生する汚泥の有効利用について

浄化センターから出た汚泥はスラッジセンターに運ばれ、濃縮・消化・脱水し減量される。その後、20km離れたコンポストヤードに運ばれる。

ここで、汚泥と麦わらを混合し、切り返し・攪拌しながら完熟堆肥にしていく。できあがった堆肥は、市民向けに年2回（8k

g×700袋×2回）配布されるが、倍率が1.73倍で好評である。

**【まとめ】**  
日置市では以前、伊集院の終末処理場において天日干しによる汚泥の堆肥化を行い、個人に配布していたが、脱水・乾燥が足りないために悪臭がひどく、評判が悪かったため、今ではすべて南さつま市の汚泥処理施設で処分されている。

これはもったいないとのこと、今回の視察を行うこととしたが、実際に視察して、日置市と比較したときに、コンポストヤードの施設や機械に

多額の費用がかかることや、施設の悪臭を考慮すれば広大な敷地も必要になることから、日置市には適さないということが、委員全員が一致した意見であった。

**【調査箇所】**  
北海道弟子屈町

**【調査の目的】**  
ハウレンソウの温泉熱利用栽培について

弟子屈町内で豊富に湧出する温泉を活用し、温泉熱の発電を行っており、その温泉熱の2次利用として、ビニールハウ

ス内の配管に使用済み温泉水（60～70℃）を流すことで、冬場は温かい環境で、また夏場は冷涼な環境で、野菜を周年で栽培できるシステムを構築している。

ビニールハウスは1畝の敷地に4棟を建設しており、年間6作、月間4万～5万パックの野菜を北海道内のスーパーに出荷しており、売上は年間5千万円である。

今後はビニールハウスを2畝に拡大して、売上1億円を目標に企業活動を行いたいとのことである。

**【まとめ】**  
温泉熱を利用した野菜栽培は、冬場も含めて1年中栽培できるという利点がある。

日置市における冬場の施設園芸は、ポイラーによる加熱と二重被覆等の保温により行われているが、近年は燃料代と資材費用の高騰により、農家の利益率が下がっている現状がある。

その点では、日置市でも温泉熱の利用は検討していくべきではないかとの意見が出された。

# 認知症対策・子育て日本一の取り組みを調査

文教厚生

福井県敦賀市・勝山市 7月5日・6日

**【調査箇所】**  
福井県敦賀市

**【調査の目的】**  
認知症対策の取り組みについて

認知症対策の厚生労働省のモデル自治体であり、認知症初期集中支援システム・見守りネットワーク・認知症カフェ、徘徊模擬訓練等、先進的な取り組みが実施されており、これまでの取り組みと成果について調査。

認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り、住みなれた地域で生活し続けられることを目的としている。

**事業の内容**  
認知症サポーター養成講座・高齢者見守り事業・敦賀みまもりネットワークシステム・認知症初期集中支援事業（市内3カ所に地域包括支援センターを設置と保健師・看護師・社会福祉士からなる支援チーム員を配置）



敦賀市視察



勝山市視察

平成25年8月から国のモデル事業（全国14カ所）・平成26年度より介護保険の地域支援事業として実施されている。

**【まとめ】**  
認知症初期集中支援システムの重要性和、早期に見し、医療機関や福祉施設に早急につなげることで、認知症予防の早期発見、重症化を防ぐことを理解した。

**【調査の目的】**  
子育て日本一の取り組みについて

女性がフルタイムで働く割合が高く、共働き世帯が多い地域性の中、少子化・子育て支援策での「子育て支援、日本一の取り組み」をきっかけ、実施している子育て支援策を調査。

**制度概要**  
○「ふれあいの里・かつやまっ子」すくすく育成奨励金

**制度概要**  
第3子30万円、第4子40万円、第5子50万円を支給

**制度概要**  
○児童インフルエンザ予防接種費用の助成

**制度概要**  
予防疫種1人1回につき1,000円助成  
小学生年2回、中学生年1回まで

**制度概要**  
○ここにこ妊婦奨励金

妊婦検診を福井勝山総合病院で1回目から受診し、県内の病院で出産1回につき10万円を支給

**制度概要**  
○子育て生活応援隊事業

一時的な保育、保育所等の送迎、家事代行サービス

利用対象 小学校3年生までの児童（第1子出産予定の家庭も対象）

利用者負担金 1時間350円（満18歳未満の子どもが3人以上いる世帯で未就学児童1人につき無料）

**【まとめ】**  
本市においても所得の高い子育て世帯から、ひとり親世帯まで、経済的な格差が広がっているため、支援策の負担割合についても、十分な検討をし、今後も、子ども子育て支援計画に子育て世代の充実をはかられたい。

# 27年度決算 決算審査特別委員会で審査へ

9月議会の最終本会議において、平成27年度の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。

委員長	下御領昭博
副委員長	畠中 弘紀
委員	田畑 純二
委員	漆島 政人
委員	坂口 洋之
委員	上園 哲生
委員	橋口 正人
委員	留盛浩一郎
委員	中村 尉司



## 議会報告会を 開催します

11月12日(土)10時 坊野地区公民館	11月14日(月)19時 美山地区公民館	11月16日(水)19時 猪鹿倉公民館	11月17日(木)19時 野首地区公民館	11月18日(金)19時 藤元地区公民館	11月22日(火)19時 花田地区公民館	11月22日(火)19時30分 和田地区公民館	11月30日(水)14時 皆田地区公民館
-------------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------------	-------------------------

## 第46号の表紙

コミュニケーションスポーツ  
クラブチエスト伊集院  
(トレーニング教室)

地域の日常的なスポーツの場として、子どもから大人まで参加できる総合型スポーツクラブです。運動することでみるみるうちに心も体も大きく変化していく自分に出会えるはずですよ。

今年も会員数は250人近く、週3回の教室受講者も増え、チエストファミリーとして毎日楽しく生きがいのある日々を過ごしています。一緒に体づくりしませんか。



## 平成28年 第5回定例会会期日程

11月24日	開 会
11月25~29日	各常任委員会
12月8~12日	一般質問
12月21日	閉 会

都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

## 編集後記

今年で3年目となる議会報告会が、11月に市内8カ所で開催されました。内容は、始めに、最新の議会審議経過や結果を、市民の皆様にご報告いたします。その後、地域の課題や要望をお聞きし、皆様と一緒に考える時間を設け、しっかりと解決できる方策を見いだしていきます。また大きな課題については、委員会による調査研究を行い、結果をご報告いたします。皆様方のご来場を心からお待ちいたします。(大園)

《発行責任者》  
議長 長 成 田 浩

《編集責任》  
広報編集委員会

委員長 黒田 澄子  
副委員長 橋口 正人  
委員 大園 貴文  
委員 坂口 洋之  
委員 山本 初美  
委員 畠中 弘紀